

【子どもは行動を通して学んでいくー運動会編ー】【トーク&トーク 私の1学期を語ろう】

仲島 正教

1. 子どもは、体を通して覚えていくもの

- ・行事は子どもを成長させる。→なのに「早くすませたい」そんな教師の元では子どもは育たない
- ・運動会は1年の中で大きなイベント。→運動会には人生の生き方が詰まっている絶好の学習の場
- ・運動会を秋ではなく春に実施する学校の増加。→春実施より秋実施の方が子どもが成長するのになぜ？

2. 運動会を通して、子どもを育てる

- ・速い遅いや勝ち負けが、はっきりみえるからこそ学習する価値がある。
勝敗や順位を決めない→それはただのごまかしにすぎない
- ・リレーは、すばらしい学習教材。練習すればするほど上達するし心も育つ。→燃える仲間たちのいい顔
- ・運動会に参加するってどういう意味？参加する→英語で take part (役割をもつ、役割をしっかりと果たす)
- ・係の仕事は教師の手伝い？ →準備、判定、司会、ライン引き、歌の指揮・・・任せると子どもは力を出す
- ・「信じて待つ」は、子どもを成長させる →1年と6年のおんぶリレー、先生の対応で大きく変わる
- ・「ぼくたち、線を引かなくても並べるよ、大丈夫だよ」→1年生をバカにしたらダメ、ちゃんと出来る！

3. 運動会での感動の涙は、一生忘れない

- ・大ちゃんチームの涙のゴール →最弱チームのがんばりと団結が算数の授業でも生きる、人生でも生きる
- ・やっさんの生まれて初めてのブリッジ成功 →放課後一緒に練習した仲間たちと先生の涙
- ・背筋伸ばして行進した姿に、親が涙を見せる →卒業式「♪ゴールめざして」で、再び感動の涙

【トーク&トーク 1学期の私の話を聞いて下さい。嬉しかった話、つらかった話等々・】

1学期の様子はどうでしたか？ 授業も、学級も、保護者対応も・・・うまくいったこと、うまくいかなかったこと、いろいろでしょう。教師の仕事は、悩みだらけ。でもそれが普通なのです。ただね、それを自分の中に閉じこめておくか、誰かに聞いてもらうかによって、高い壁が、扉にもなるのです。

☆

☆

☆

「目の前にあるのは、壁ではなくチャンスだ。そしてその壁はやがて扉にもなるんだ」

※【夏休みにしておきたいこと】

1. 先生もしっかり遊んでリフレッシュ！ →遊びの中には感動、創造、協同、ユーモアが詰まっている
2. クラスの子には、残暑見舞い（暑中見舞い）のハガキを書いてやりましょう →アイデア有りがき
3. 一番しんどい子の家には、休み中に一度は家庭訪問をしてやりましょう →5分間家庭訪問で十分
4. 夏休み中に一回ぐらいいは、自分でお金を出して興味のある研修に行きましょう →ちょっとだけ勉強

※8月9日（土）元気が一番塾「夏季セミナー」 兵庫県民会館 10:00～17:00

ゲスト講師 曲里由喜子先生、大路 亨先生 参加費 3000 円 申込みが必要です

ゴールめざして

地図をたよりに 市島の町を 君といっしいに歩いていった
あの日のあの空 忘れるもんか みんなで広げた弁当の味
あの日の喜び 忘れはしない

バスにゆられて 修学旅行 君の瞳が輝いていた
あの日のあの夜 忘れるもんか みんなでさわいだホテルの部屋で
あの日の思い出 忘れはしない

背筋伸ばして行進してた 君の姿が大きく見えた
あの日のあの時 忘れるもんか 全力尽くした運動会の
あの日の出来事 忘れはしない

熱気あふれる音楽会で 君の歌声よくひびいていた
あの日のあの歌 忘れるもんか みんなの心がひとつになった
あの日のあの曲 忘れはしない

ああ 君の眼も ぼくの眼も
広がる宇宙 見つめる瞳 消えない虹を 腕いっぱい
ゴールめざして 歩いて行こう あの日に続く今日の道を